

春 分 儀 式

I :: O :: S :: 儀式魔術文書 VE13A



THE OFFICIAL ORGAN
OF

I :: O :: S ::

PUBLICATION IN CLASS D
IMPRIMATUR : M FRATER I :: O :: S ::

THE VERNAL EQUINOX CEREMONY FOR ASTRAL WORKING
I :: O :: S :: ASTRAL TEMPLE WORKING

第1章 解 説

本儀式は、小規模な団内グループ(ロッジ単位程度)が、簡易な準備で行える霊的集合儀式(Astral Temple Working)として作成した。従って、実行儀式よりも簡略化した部分がある。

《春秋分点》は、「均衡と調和」を表象する宇宙的な時刻である。年に2回の分点において、太陽の運行または振動と地上の四大元素が融合する。本儀式は、原則的に春秋分点の前後48時間以内に実施すること。2013年の春分点通過は3月20日(水)午後8時2分(日本標準時)である。儀式内容は、モーゼス・コルドヴェロの発案なるセフィロト対応の母音記号を利用した「音韻の祈祷」により、春分の祝祭を実施する。

1 概 要

(1) 母音の門からセフィロトの母音記号への帰属

2010年春分儀式では、アブラハム・アブラフィアの『知性の光』(1285年)から母音の門の技法を紹介した。それは母音記号を宇宙の特定方位及び身体運動と結びつけて用いるものであった。16世紀のモーゼス・コルドヴェロは、この体系を別の切口中で再整理した。⁽¹⁾

セフィロト	母音記号 (ニクダ)			聖 四 文 字	
	名 称	音	記 号	ヘブル語	発 音
ケテル	カメツ	アー			ヤアーハアーヴァーハアー
コクマー	パタハ	ア			ヤーハーヴァーハー
ビナー	ツエレ	エー			イエーヘーヴェーヘー
ケセド	セゴル	エ			エーヘーベーヘー
ゲブラー	セヴァー	無声			イフブフ
ティファレト	ホレム	オー			ヨオーホオーボオーホオー
ネツァク	ヒレク	イー			イイーヒイーヴィイーヒイー
ホド	キブツ	ウ			ウーフーブーフー
イエソド	シュレク	ウー			ウーフーヴァーフー
マルクト	なし	ー	ー	ー	ー

注：母音記号セヴァーは、有声音で「エー」と発音するセヴァー・ナーと無声音のセヴァー・ナハに別れる。有声音となるのは語頭のみであるが、コルドヴェロはすべて無声音で読ませている。

(2) 人体への展開と音韻の祈祷

前項の母音記号のセフィロト対応は、神話空間にあるセフィロトに帰属している。その応用技法さえも、聖四文字の発音によるシェム・ハ・メフォラシュ制御という高度な観念的な操作である。しかし、コルドヴェロが指摘しなかった分野に概念を拡張すると、より実感的な観想技法を構築することができる。シュラミット・エルソンが整理した「音韻の祈祷 (Sound

(1) Moses Cordvero, "Pardes Rimmonim" 32Gate, Chap.1-3, in Aryeh Kaplan, *Meditation and Kabbalah*, York Beach : Samuel Weiser, 1985, p.185.

2 司官の配置

(1) 司官の指定

本儀式に必要な司官は、PRAECEPTOR (P C)、すなわち「先導者」の1名である。

P Cは、黄金の夜明け団の伝統的な白の法衣を纏い。白のネミスをかぶり、マントやその他の役職記章はつけていない。右手に「ハイエロファントの棒」をもつ。それは神殿を開き、つなげる権威の象徴である。

他の参列者は、内陣団員は白の法衣と白のネミスを、外陣団員及びプロベিশヨナーは、黒の法衣と白黒縞のネミスをかぶり、手には何も待たず参集する。

ディオン・フォーチュンの内光協会のアストラル神殿儀式では、参集者は儀式場に座ったまま、光体（かれらはアストラル体と呼称）を下位アストラル神殿に投射する。そのとき光体は全裸であり、神殿の着衣の間（Robing Room）において、光の法衣を纏う。

(2) トーラーの宰相の召喚

司官は、マルクト神殿で律法の公爵を召喚し、メタトロンの顕現たる大天使の長上が「肉の衣を去る」までは、実効上の神（天使を使役する者）として活動する。この場合「肉」とは、魔術師の「光体」のことである。

3 アストラル神殿の構造

マルクト神殿を使用する。

4 身辺の準備

(1) 部屋の準備

部屋を暖かくし、プライバシーを保護できるような態勢づくりをする。（家族に部屋に入らないように断ってからドアの鍵を閉める等）、携帯電話、アラームの類はあらかじめ切っておく。部屋の中央に快適な椅子か、ソファを置き、その他の不要なものを片づける。

部屋を薄暗くする。小さな照明を利用する場合は、背後に置き、その光を直視しないように配置する。

何度も反復して練習し、象徴や、儀式の細部まで呑み込んでいても、外部の妨害ですべてが台無しになることもあり得る。準備は、怠りなく。

(2) シナリオ

今回も、シナリオ文書を単純化したので記憶してもらいたい。黎明視の妨げとなるので、テープの録音も不要である。

あなたの行動する部分は緑の文字で記してある。

神聖名を発音するときは、注意深く行うこと。

事前のリハーサルは勿論、必須とも言える。

(3) 直前の手順

開始する前に手を洗い（儀式的沐浴）、法衣（または身体を締め付けない服装）に着替え、L B R Pを行って椅子に座り、中央の柱の行法で活性化する。

第2章 儀式

1 神殿への入場

この準備的作業は、光体のレベルではなく、生身の肉体で行う。

参加者は、東に面して座り、目をかすかに開き（いわゆる半眼の状態）にする。視線は足下に落とし、家具などの周囲の状況が明確に像を結ばないようにする。瞼を開く程度を変えて、この焦点を結ばない状態を維持する。気持ちが悪くなった場合は、普通に眼を開いて、もう一度調整する。

半眼のまま、深く呼吸をする。呼吸は肺だけではなく、全身の皮膚を通して行う。一息ごとに、喉や鼻孔のみならず、全身の皮膚から、周囲に満ちている生気が肉体に吸い込まれ、全身の細胞を活性化させる。

あなたは光のトンネルを通過して、アストラル神殿の外庭に着地し、扉の前に立つ。マルクト神殿のヤキンとボアズの柱を通過し、青銅の扉に面すると、扉の表面に刻まれたIOSの三文字が内側から光を発し、扉は音もなく両側に開く。

神殿の内陣広間に通じる廊室において、兄弟姉妹たちが集っている。

2 ウシャブティ

先頭に立ち、集まった参加者を振り返るPCが静かに命じる。「ウシャブティを纏うべし。」PCは、率先して「小神像（ウシャブティ）」を纏う。

すなわち頭頂の光球から光を拡散し、やわらかな膜のような形に引き延ばして、喉の光球に結びつけ、さらに胸と背を通して、胴の光球を振動させ、腰を振動させ、最後は足下の光球を振動させ、全身をひとつの巨大な光の膜で包み込んでしまう。その無定型のオーラの卵を好みの神、天使、神話的形態に変化させる。この場合は、司官は顔のないアケファロスの姿形をまとう。参加者は、文字通りエジプト神話の代理神像である直立した人間の姿をもつ霊的姿形を纏う。

PCは、廊室の中央の扉をくぐり、本殿に入る。

兄弟たちは、廊室でしばし準備のできるのを待つことになる。

3 物見の塔の儀式

PCは、祭壇の西側に回り込む。自らのオーラを広間全体に広げる。そして、拡張した白く輝くオーラを保持したまま、小五芒星の追儼儀式を行う。

引き続き、小六芒星の追儼儀式及び物見の塔の儀式を行う。

参加者は、その動きを廊室から、おぼろげな円運動による渦の発生として捉える。詳細なPCの動作を視覚化する必要はない。

4 入場及び宣言

PCは神殿の西の壁を背にして、東を向き合図の鈴を鳴らす。

PCの霊的な鈴の合図で、参加者の入場が始まる。

兄弟たちは右側、すなわち南の壁際に立ち、姉妹は左側、北の壁際に立つ。

PCは、内側を向いたまま次の言葉を宣言する。

PC：「I ∴ O ∴ S ∴の兄弟姉妹たちよ。春分の儀式を開始せん。」

5 律法の宰相の召喚

PC：「七つの封印を光体に刻印せん。」

PCは聖なる名前を唱えたあと、剣指をつくり、揃えた両膝に当てる。

参加者もPCの動作に倣う。

PC：聖名とともに唱える。「アブリース ススティイー。わが脚を封じる。」

(אָרײַם ססײַטן)

全員：「わが脚を封じる。」

PC、参加者は剣指を心臓に当てる。

PC：聖名とともに「アバグ バググ。わが心臓を封じる。」(אָבאָג באַגג)

全員：「わが心臓を封じる。」

PC、参加者は剣指を右肩に当てる。

PC：聖名とともに「アリム ティパー。わが右腕を封じる。」(אָרײַם תּײַפּאַ)

全員：「わが右腕を封じる。」

PC、参加者は剣指を左肩に当てる。

PC：聖名とともに「アブリース セシー イアー。わが左腕を封じる。」

(אָרײַם ססײַטן תּײַפּאַ)

全員：「わが左腕を封じる。」

PC、参加者は剣指を首に当てる。

PC：聖名とともに「アビス セル バグ エル ヤーブ ドゥーエル。わが首を封じる。」

(אָבײַטס סעל באַג אַל יאַרב דוועל)

全員：「わが首を封じる。」

PC、参加者は両手を胸の前で組む。

PC：聖名とともに「アブ パク キテル スス エイカド ヤドヤド ヤー。わが生命とすべての部分を守護するために。」(אָבאָג באַק קײַטל ססײַטן אײַקאַד יאַד יאַד יאַ)

全員：「わが生命とすべての部分を守護するために。」

PC、参加者は両手を頭上高く差し出しV字を形造る。

PC：聖名とともに「オーブ パス ヤーウ キーブ ヨー ザハブ ヤーウ ティティス。わが天蓋を封じる。」(אָוּב פּאַס יאַוּ קײַב יוּ זאַהאַב יאַוּ תּײַטײַס)

全員：「わが天蓋を封じる。」

PCは封印の完成とトーラーの宰相への呼びかけを行う。

祭壇の傍らにいるPCの上に覆い被さるように出現する巨大な天使の像がウシャブティを呑み込む。アケファロスの顔のないオーラに、律法の宰相のテレズマ的姿形が融合し、再形成されてPCの霊的外形が急激に変化する。

PCが宣言する。

PC：「われは、聖なる五つの文字に表象される無敵の一者なり。

四風を聖化するは、われなり。

五界を結ぶは、われなり。」

6 四風の聖化

P Cは東を向いて宣言する。

「I ∴ O ∴ S ∴ の神殿に四方位（よも）の風を召喚せん。」

神殿の東壁の中央に扉が現れた。

P Cは、東に向い高らかにヘブル語を詠唱する。それは、四方位の風をふるわせる呪歌である。

P C：「エロウイイー

（וְאֵלֵינוּ わが力の根元よ。）

ネシャマー・シェー・ナタフター・ビー

（וְשָׁנָה לְךָ שָׁנָה 汝が授けし息吹よ。）⁽⁴⁾

テホラー・ヒー

（וְהָיָה טָהוֹרָה そは清浄なり。）

アター・バラーター

（וְאַתָּה בָּרָא אַתָּה 汝がそを創造せり。）

アター・ヤツアルター

（וְאַתָּה יָצַר אַתָּה 汝がそを形成せり。）

アター・ネファクター・ビー

（וְאַתָּה נָפַח אַתָּה 汝はそを我に吹き寄せる。）

ヴェ・アター・メシャムラー・ブキルビー

（וְאַתָּה מְשַׁמֵּר בְּקִרְבִּי また、汝は我がうちにあるそを監視する。）

ヴェ・アター・アティード・リット・ラー・ム・メフニイー

（וְאַתָּה מְעִלֵּא מִמִּנִּי また、汝はいつかそを我より取上げる。）」

全員：「バラフター・ヴェ・ヤツアルター

（וְאַתָּה יָצַר אַתָּה 創造と形成）」

P Cは、東の方向に宝瓶宮のサインを描く。

P C：「ヒー・ネイ・ニー （וְהָיָה אֵלֵינוּ われはここに）

ヒー・ネイ・ニー （וְהָיָה אֵלֵינוּ われはここに）

ヒー・ネイ・アーニー・ヤー （וְהָיָה אֵלֵינוּ אֵלֵינוּ われはここに、神の息吹の）

アナ・ホウシーアー （וְהָיָה אֵלֵינוּ אֵלֵינוּ 加護のあらんことを）」

全員：「ヤー・アナ・ホウシーアー

（וְהָיָה אֵלֵינוּ אֵלֵינוּ 息吹の加護あらんこと）」

P Cはヨド・ヘーの呼吸を始める。全員それに唱和する。

P C：「ヨー」（呼気）「ヘー」（吸気）「ペーリー・マー」（無の性質を強く意識する。）

全員：「ヨー」（呼気）「ヘー」（吸気）「ペーリー・マー」（無の性質を強く意識する。）

東の壁いっぱいに、黄色い照り返しを浴びた雲海がひろがる。

雲海は下から湧きあがる雲の断片で沸騰するようだ。

その黄色い雲の渦の中心に、仄かな薄暗い陰が生まれる。

その陰は人型をつくる。人型の頭部が紫色の光を放つ。

これはエロヒムの影だ。

(4) 来る (וָכָא) の変化形 (וָכָא) は、「霊が我がうちに入りたり (וָכָא וָכָא וָכָא)」(『エゼキエル書』2：2) のように使われる。

PCは、祭壇の南に回り、南の方向に獅子宮のサインを描く。

PC：「アーニー・ボー (אָנִי וְעָנִי われと名前なきもの)
アーニー・ボー (אָנִי וְעָנִי われと名前なきもの)
エロヘイ・イスラーエル (אֱלֹהֵינוּ אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל 主の力よ)」

全員：「エロヘイ・イスラーエル (אֱלֹהֵינוּ אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל 主の力よ)」

南の壁いっぱいに、紅蓮の炎が燃えさかる。
爆発的な溶岩の噴出、燃え上がる硫黄の噴煙を炎の陰に垣間見る。
その炎の壁のただなかに、巨大なたてがみのある生き物が見える。
強靱な爪のある筋肉の束が炎を掻き分ける。
それは獅子のすがたをもつ炎である。

PCは、祭壇の西に回り、西の方向に天鰲宮のサインを描く。

PC：「アーニー・ボー (אָנִי וְעָנִי われと名前なきもの)
アーニー・ボー (אָנִי וְעָנִי われと名前なきもの)
ホウシーアナ (הוֹשִׁיעָאנָא われを助けよ)」

全員：「ホウシーアナ (הוֹשִׁיעָאנָא われを助けよ)」

PCはヴァウ・ヘーの呼吸を始める。全員それに唱和する。

PC：「ヴァウ」(呼気)「ヘー」(吸気)「マー」(有の性質を強く意識する。)

全員：「ヴァウ」(呼気)「ヘー」(吸気)「マー」(有の性質を強く意識する。)

西の壁いっぱいに、ブルー・オーシャンがひろがる。
それは砂浜近くの明るい海水ではなく、海底の伺えない深海の青黒い海原である。
小島ほどもある巨大なうねりが押し寄せてくる。
その大うねりの海水の表面に、途方もなく巨大な翼ある生き物の影が映る。
それは鷲の翼のようである。

PCは、祭壇の北に回り、北の方向に金牛宮のサインを描く。

PC：「アーニー・ボー (אָנִי וְעָנִי われと名前なきもの)
アーニー・ボー (אָנִי וְעָנִי われと名前なきもの)
エレッツ・カーナーニー (אֶרֶץ כַּנְעַנִי カナンの地よ)」

全員：「エレッツ・カーナーニー (אֶרֶץ כַּנְעַנִי カナンの地よ)」

北の壁いっぱいに、乾いた大地がひろがっている。
地平線の彼方には、雲をまといつかせた山脈が遠望できる。
彼方の雪の峰から手前にかけては、なだらかな丘陵地帯になっており、
その丘の上に角のある生き物の影が射す。
生き物は牡牛のように見える。

7 音韻の祈祷

PCは、祭壇の西に回り、東面する。全員が東面する。

PCは両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。

全員が両腕を脇に垂して直立し、自分の呼吸に意識を集中する。

PCは、両肩及び太陽神経叢の上に光球の三幅対 (𐤍-𐤊-𐤊) を下向きの三角形として視覚化し、1～2分間、これを可能な限りリアルに視覚化する。

全員が光球の三幅対 (𐤍-𐤊-𐤊) を視覚化する。

PCは、太陽神経叢の光球ティファレトに意識を集中し、ティファレトから母音記号パタハを力を込めずに3回発声する。発声は無理のない範囲で長く続ける。

PC：「アー アー アー」

全員がティファレトに意識を集中しつつパタハを3回発声する。

全員：「アー アー アー」

PCは、右肩の光球ゲブラーに意識を集中し、ゲブラーから母音記号パタハを3回発声する。

PC：「アー アー アー」

全員がゲブラーに意識を集中しつつパタハを3回発声する。

全員：「アー アー アー」

PCは、左肩の光球ゲドゥラーに意識を集中し、ゲドゥラーから母音記号パタハを3回発声する。

PC：「アー アー アー」

全員がゲドゥラーに意識を集中しつつパタハを3回発声する。

全員：「アー アー アー」

PCは、光球ティファレトに意識を集中し、ティファレトから母音記号パタハを長く1回発声する。

PC：「アーアーアー」

全員がティファレトに意識を集中しつつパタハを長く1回発声する。

全員：「アーアーアー」

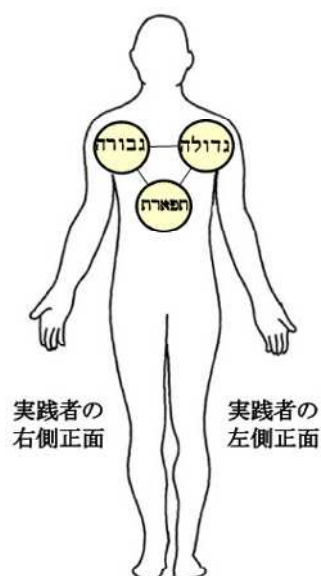
PCは高らかに詠唱の声をあげる。

PC：「高みに昇る者は誰ぞ、深きに下る者は、戦車の轍に跨る者は、世界を渉獵する者は、乾いた陸を闊歩し、栄光を称える者は、主の光輝を仰ぎ、王冠をおろす者は、主の栄光へと変容され、賞賛の声を発する者は、文字を組み合わせ、御名を発する者は、高みにあるを仰ぎ、深みにあるを見下ろす者は、生命の意味を知り、死の幻影を見る者は、焰の河を歩き、稲妻を知る者は、誰ぞ。

אל (エル)こそ名前なり、

גבור אל'ים (エロヒム・ギボール)こそ名前なり、

אלה ואלה (ヤーヴェ・エロア・ヴァダアス)こそ名前なり。」⁽⁵⁾



(5) 『小へハロート』 §§348-352及び§§357-367より、整理して引用した。C. Rowland and C. R. A. Morray-Jones, *The Mystery of God*, pp.278-279, 282-288.

全員：「אל (エル)こそ名前なり、
גבור אלהים (エロヒム・ギボール)こそ名前なり、
ועדת אלה יהוה (ヤーヴェ・エロア・ヴァダアス)こそ名前なり。」

P Cは、太陽神経叢及び両方の腰の上に光球の三幅対 (א-ב-ג) を上向きの三角形として視覚化し、1～2分間、これを可能な限りリアルに視覚化する。

全員が光球の三幅対 (א-ב-ג) を視覚化する。

P Cは、太陽神経叢の光球ティファレトに意識を集中し、ティファレトから母音記号ホレムを力を込めずに3回発声する。発声は無理のない範囲で長く続ける。

P C：「オオーー オオーー オオーー」

全員がティファレトに意識を集中しつつホレムを3回発声する。

全員：「オオーー オオーー オオーー」

P Cは、左腰の光球ネツァクに意識を集中し、ネツァクから母音記号ホレムを3回発声する。

P C：「オオーー オオーー オオーー」

全員がネツァクに意識を集中しつつホレムを3回発声する。

全員：「オオーー オオーー オオーー」

P Cは、右腰の光球ホドに意識を集中し、ホドから母音記号ホレムを3回発声する。

P C：「オオーー オオーー オオーー」

全員がホドに意識を集中しつつホレムを3回発声する。

全員：「オオーー オオーー オオーー」

P Cは高らかに詠唱の声をあげる。

P C：「いと高き座にありて輝ける宝冠を頂きし君よ。

深みを見通す者よ、神秘を看破する者よ、暗闇を理解する者よ、

あらゆる場所に御身はいます。誰のころにも御身は住まえり。

御身の意志を妨げる者なし。御身の言葉を取り消す者なし。御身の望みに遅れる者なし。

ועדת אלה יהוה (ヤーヴェ・エロア・ヴァダアス)こそ名前なり、

צבאות יהוה (ヤーヴェ・ツァバオス)こそ名前なり、

צבאות אלהים (エロヒム・ツァバオス)こそ名前なり。」⁽⁶⁾

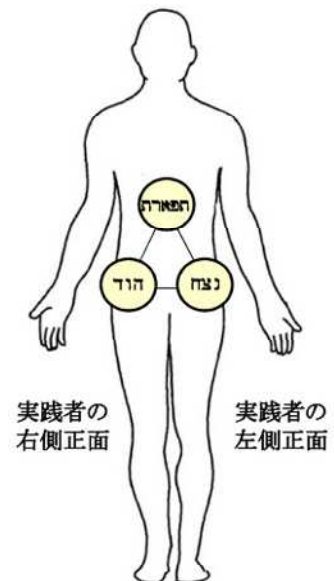
全員：「ועדת אלה יהוה (ヤーヴェ・エロア・ヴァダアス)こそ名前なり、

צבאות יהוה (ヤーヴェ・ツァバオス)こそ名前なり、

צבאות אלהים (エロヒム・ツァバオス)こそ名前なり。」

P Cは、太陽神経叢及び頭部の両側に光球の三幅対 (ד-ה-ו) を下向きの三角形として視覚化し、1～2分間、これを可能な限りリアルに視覚化する。

全員が光球の三幅対 (ד-ה-ו) を視覚化する。



(6) 『小へハロート』 §418cより引用。C. Rowland and C. R. A. Morray-Jones, *The Mystery of God*, p.297.

Diagram illustrating the placement of three yellow circular markers on a human figure, representing the 'Three Gates' (Shamaima) concept. The markers are labeled:

- Top Left: כִּינֹה (Kino)
- Top Right: חֲכָמָה (Chochma)
- Bottom Center: תְּפֹאֶרֶת (Teforet)

Lines connect the markers to form a triangle. The figure is labeled with the following text:

- Left side: 実践者の右側正面 (Right side of the practitioner)
- Right side: 実践者の左側正面 (Left side of the practitioner)

全員：「オォー— オォー— オォー—」

全員：「オォー— オォー— オォー—」

全員：「オォー— オォー— オォー—」

全員：「オオオー——」

「(ヤー)こそ名前なり。」⁽⁷⁾

𐤏𐤍 (ヤー) こそ名前なり。|(8)

全員がそれに続く。

(8) 『小へハロート』 §419eより引用。C. Rowland and C. R. A. Morray-Jones, *The Mystery of God*, p.299.

天の宮殿に到着した。

大理石の立方祭壇の西側から近づき、P Cが宣言する。

P C : 「祈りの声を聞かれない。偉大にして強大なる主よ。

高貴にして慈悲深き君よ、その眼差しは被造物にあまねく下される。

汝が従僕たる祈り手に向き直り、好意を持ち答えたまえ。

全宇宙の主よ、万物の造り主よ、宇宙の一者よ。

わが叫びに答え、天の門を開きたまえ。

汝が膝下にある貴顕の御名を召喚するものなり。」⁽⁹⁾

P Cが高らかに唄い始める。

P C : 「リー・イエー・シュー・アッ・チャー・キー・ビー・ティー・シャーディー

(לִי יְשׁוּעָה קְבוּץ שְׂדֵי 汝が導きにわが望みを主よ。)

キー・ビー・ティー・シャーディー・リー・イエー・シュー・アッ・チャー

(קְבוּץ שְׂדֵי לִי יְשׁוּעָה 我が望みを主の導かれるままに。)

シャーディー・リー・イエー・シュー・アッ・チャー・キー・ビー・ティー

(לִי יְשׁוּעָה קְבוּץ 主の導きに我が望みを。)

P C : 「サティームー・ヴェー・グー・リアー (סַתִּימוּ וְעֵי גוּ לִי)」

全員 : 「隠され開示されたり。」

聖化した四方位の風に取り巻かれ、四界へ密着せる宮殿において、春分の秘儀にあずかる。

P Cは、神殿の北に行き、南を向いて言う。

「この場は、光と闇の至聖処なり。

今、頭上に春分の太陽があり、

光は闇と均衡せんとしている。

われは律法の宰相として、

春分の執行を宣言する。」

8 春分の主祭

P Cは、神殿の東側から中央を向いて言う。

P C : 「祭壇に宇宙の軸を召喚せん。

I a H a V a H a (ヤアー・ハアー・ヴァー・ハアー)

H e V e H e I e (ヘイ・ヴェイ・ヘイ・イエイ)

V o H o I o H o (ヴォー・ホー・イヨー・ホー)

H I H V (ヘー・ヨド・ヘー・ヴァウ)」

P Cが宣言する。

P C : 「大いなる周行をもって、祭壇に集中せん。」

(9) James R. Davila, *Descenders to the Chariot*, Boston : Brill, 2001, p.113.

祭壇を軸として、3度周行する。

P C : 「神秘なる周行は完成し、昼と夜は均衡した。春分は到来せり。」

P C は、祭壇の東に立ち、西に向かってハーポクラテスのサインを行う。

P C : 「深き闇に拝礼す。光は闇より生まれたり。神殿の古きパスワードは・・・なり。」

P C は、祭壇の西に廻り、東に向かってホルスのサインを行う。

P C : 「全き光に拝礼す。闇は光に内在せり。神殿の新しきパスワードは・・・なり。」

P C : 「パスワードは交換された。」

全員が祭壇を取り囲む。

P C : 「腕を組み、手と手を取りて、われらのオーラをひとつに融け合わせよう。

無敵なる主の顕現にあずかりて、われらの靈魂をひとつとなし、
そをもちて、この神殿は栄光の場とならん。」

全員が手を組み輪のなかに祭壇を包み込む。

手を放すことなく次を唱える。

全員 : 「主よ。われらは自らを捧げん。

わが心臓と靈魂は、汝への絶ゆることなき供物とならん。

汝が御手の技の裔を受け、汝の意志のままに与え、奪いたまえ。アーメン。」

全員、東を向く。

全員 : 「聖なるかな、汝、宇宙の主よ！

聖なるかな、汝、自然の造らざる者よ！

聖なるかな、汝、広大にして強大なる者よ！

光と闇の主よ。」

9 諸天使の出立

宮殿の床が瞬時に溶け落ち、全員がマルクト神殿に降り立った。

P C は祭壇の北に行き、南を向く。

P C : 「律法の宰相の加護に感謝する。

靈の虚の場所に戻りたまえ。」

P C は再度、祭壇の西に行き、東を向く。

P C : 「聖なる五つの文字に表象される長老たちよ。

ヨド・ヘー・シン・ヴァウ・ヘー (יהוה שדו)

万軍の将、靈の虚の場所に住まわん。

ヨド・ヘー・ヴァウ・シン・ヘー (יהוה שדו)

戴冠せる王、靈の虚の場所に住まわん。

光と闇の轆轤を逆転し、魔術師の肉体を脱ぎ捨て、光へと帰還せん。」

P C : 「主よ、われらの賛歌を聞きたまえ。宇宙の韻律と調和に、感謝を捧げん。

主の聖靈は、森羅万象の上にあり、下にあり、内にあり、外にもある。

主よ、生ける靈と人の子らに、法悦と祝福を与えたまえ。

律法の宰相は、肉の衣を去れり。」

全員：「主よ、われらに祝福あれ。われらは絶えることなく汝を称えん。」

10 地上への帰還

PC：「人の子らよ。律法の宰相は、去れり。されば、地上に帰還せん。」

PCは《ヴェールを閉じる》サインを行う。

PC：「イエヘシュアーとイエホバシャーの御名において、
この儀式により拘束されし、すべての《霊》を解放せん。」

PC：「われは宣言する。神殿作業は終了せり。」

全員：「神殿作業は終了せり。アーメン。」

神殿の外へ出る。神殿の外庭でウシャブティを解放し、光の洞窟を通過して光体は自分の部屋に戻る。静かに肉体に戻る。四肢の感覚が戻ったところで、光の法衣を脱ぐ。（特別な手順は必要ない。）光の法衣とともに儀式中に刻印された封印、その他の印は精妙界に去る。

その後、静かに目を開き、立ち上がる。

法衣を着用している場合は、沈黙のうちに着替える。

普段着に戻り、儀式についての個人的メモ（『魔法日記』用）を終わるまで、この沈黙を続けるのが望ましい。その後は、軽い食事、飲み物等を採り、地上に帰還したことを自分自身に印象づけること。

**VERBORUM PUBLICA
I :: O :: S ::
RITUALE DE
AEQUINOCTIO VERO XIII A**

**IMPRIMI POTEST : I :: O :: S ::
NIHIL OBSTAT QUOMINUS IMPRIMATUR
IMPRIMATUR : M.E.S.A. 5=6
MARTIUS MMXIII**

春分儀式 V E 1 3 A

Copyrights © All rights reserved I :: O :: S :: 2013

2013年3月14日 I :: O :: S :: 発行

本文書は、複数のまたは個人の団員が、魔術実践の練習のために使用するものであり、I :: O :: S :: の公式儀式手順書ではない。従って、本儀式を公に実施するテンプル、ロッジはその旨を会員に明確に告示する必要がある。しかし、それは同時に本文書を利用した会員の自由な実践活動を妨げるものではない。会員外の使用については、I :: O :: S :: の許可が必要である。本文書の著作権は団に所属する。本文書の内容の一部または全部を、団の文書による許可なく、機械的、電子的、光学的、霊的、その他の手段で複製、引用、転写することを禁じる。

表紙図版：ギュスターブ・ドレ「天上の薔薇」『神曲』1868年